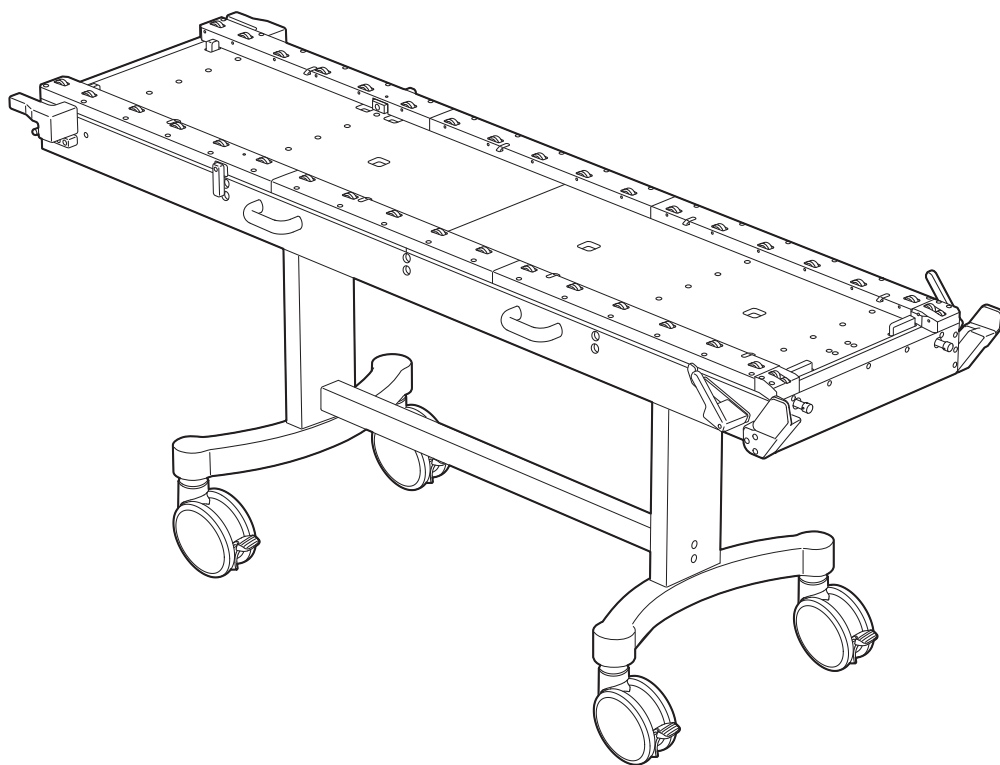




手術台 MST-7300BX-MR・T 術中診断手術台システム 術中 MRI 対応トロリー

取扱説明書



トロリーは手術台から MRI へ患者を移載することを目的として設計されています。患者移載以外の目的で使用すると、重大な事故を起こすおそれがあります。

操作や保守を行う者は必ず添付文書および本書を読んで内容を理解してください。

添付文書および本書は、このトロリーに関わる者の参考のために適切な収納場所に保管して、必要なときに読めるようにしてください。

目次

1 章	はじめに	1
1.1	本書について	1
1.2	本機について	1
1.3	付属品	2
2 章	保証について	3
3 章	お使いになる前に	4
3.1	お使いになる前にお読みください	4
3.2	ラベル内容と貼り付け位置	6
4 章	各部の名称	8
5 章	トロリーの設置	9
5.1	トロリーの固定と解除	9
5.2	トロリーの移動	10
5.3	手術台との連結と解除	11
6 章	保守と点検	13
6.1	使用前・使用後の点検	13
6.2	定期交換部品	14
6.3	故障時	15
7 章	仕様	16
7.1	仕様表	16
7.2	外観図	17

1 章 はじめに

1.1 本書について

本書は、本機（術中 MRI 対応トロリー）を安全に、効果的にご使用いただくための取扱説明書です。本機をご使用いただく前に、必ず本書を読み、操作・点検・修理要領を十分理解されてから使用してください。本書に従わなかった場合、重大な事故に結びつくことがあります。

本書の警告および注意内容、または本機に貼り付けた警告および注意内容を理解していただくため、安全のための情報を次のように使い分けています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

補足

この表示は、製品の機能について補足事項を示しています。

本書に記載されている操作・点検・修理に関する注意事項は、本機を手術の目的に使用する場合に関するものです。

患者移載以外の目的に使用する場合、および本書に記載されていない操作・点検・修理を行う場合の安全については、すべて使用者側の責任となります。

1.2 本機について

本機は、手術台から MRI へ患者を移載するテーブルです。

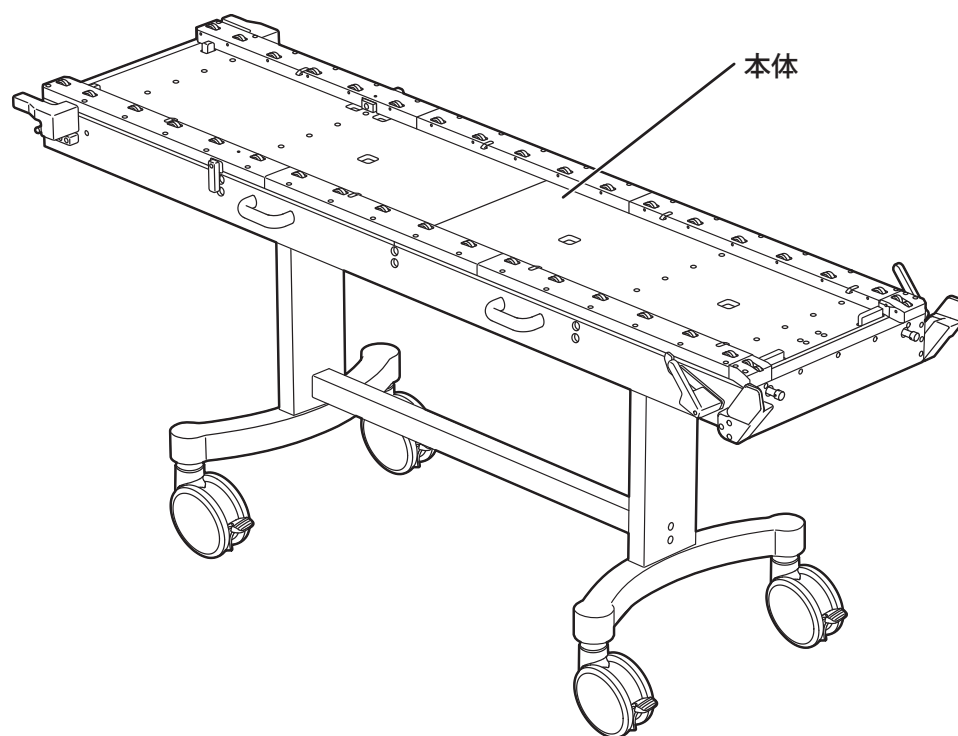
本機は手術中に患者の MRI 撮影を行うことを目的としています。

専用の手術台と連動して、手術台から直接患者を乗せる機構を備えています。

病院の手術室において、本機の使用方法を熟知した医師・看護師・医療機器の技術者が使用してください。

1.3 付属品

■ 標準構成品



取扱説明書

2 章 保証について

本製品は下記の保証修理規定に従って修理いたします。

- 1.保証期間は納品／設置日から一年間です。保証期間内に添付文書・取扱説明書・貼付ラベル等の注意書に従ったご使用で故障した場合には無償修理をさせていただきます。
- 2.修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または弊社営業所にお申しつけください。
お申しつけに当たっては以下の内容をご連絡ください。
(ア) 型名
(イ) 製造番号（製品のラベルをご確認ください*）
(ウ) 故障の状態
- 3.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(イ) お買い上げ後の設置場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
(エ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(オ) 消耗製品が自然劣化し消耗部品を取り替える場合。
(カ) 前各号に掲げる場合のほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。
- 4.保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
- 5.本規定は日本国内においてのみ有効です。

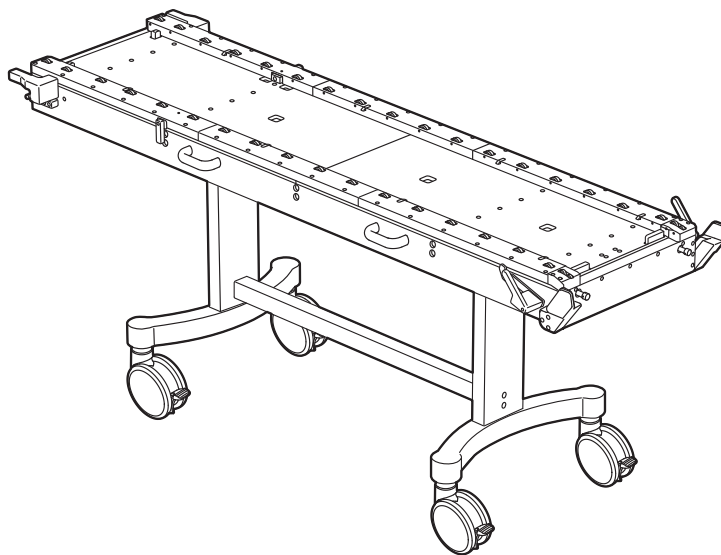
以上

※製造番号のラベルについては、P.6 の（14）をご確認ください。

3 章 お使いになる前に

3.1 お使いになる前にお読みください

本機を使用するにあたって、以下の行為は絶対しないでください。
手術台の損傷、感電、発火のおそれがあります。



警告

- 分解・改造の禁止
 - ・ トロリーを分解または改造しないでください。故障の原因となります。
- 保守点検
 - ・ 使用前・使用後の点検、および適切な保守点検を必ず行ってください。使用期間または使用頻度によっては、部品の著しい消耗・劣化・破損等により、該当部品の交換が必要な場合があります。
 - ・ 保守点検については、ご購入店または弊社に相談してください。
- 静電気防止
 - ・ 静電気対策が不十分な床またはアクセサリで使用しないでください。手術の障害になるおそれがあります。



● 清掃と消毒

- 手術台を使用した後は、必ず以下の手順で手術台の清掃および消毒をしてください。
 - 電源を切って、電源コードを医用コンセントから外します。
 - 手術台から全てのマットレスを取り外します。
 - 糸くずの出ない清潔な布に適量の消毒液をつけて、各マットレスの上面・側面・裏面を拭きます。
 3. と同様の手順で、各テーブル板およびサイドレール表面を消毒します。
 - 消毒後 15 分以内に清潔な布でから拭きします。
- 必ず弊社確認済みの消毒液を使用してください。弊社確認済みの消毒液は以下のとおりです。
 - 次亜塩素酸ナトリウム 0.1% (ハロゲン系薬剤)
 - ハイポアルコール (ヨード脱色剤)
 - クロルヘキシジン (グルコン酸クロルヘキシジン 0.5%)
 - 塩化ベンザルコニウム (逆性石けん 10%)
 - ポピドンヨード
 - エタノール 80%
 - オキシドール (過酸化水素水)
 - 生理食塩水
 - イソプロピルアルコール (IPA) 99.5%

● 輸送時の注意

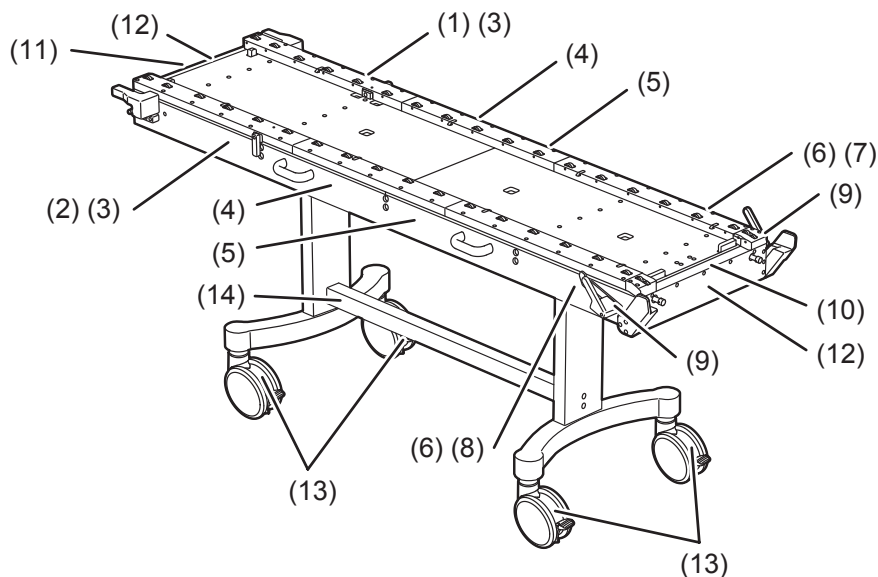
- 輸送は以下の条件を満たした状態で行ってください。
 - 輸送の前に、必ず手術台全体を消毒すること。
 - テーブルトップを最低位置まで下げるなど、転倒防止の対策をすること。
 - ブレーキを作動させる。
 - 緩衝材などを適切に配置し、輸送中の衝撃による破損を防ぐ。
 - コンテナなどに収納して、ほこりや風雨にさらされないようにする。
- 通過可能な高さおよび幅：高さ 10mm / 幅 80mm

● 廃棄時の注意

- トロリーを廃棄するときは、関係する法律または地方自治体の条例に基づいて適切に処置してください。

3.2 ラベル内容と貼り付け位置

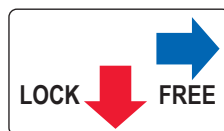
本機には下記の位置に各種ラベルが貼り付けてあります。
ご使用になる前に必ず各種ラベルの内容をご確認ください。



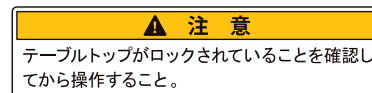
(1) C657363□



(2) C657364□



(3) C680034□



(4) C680029□



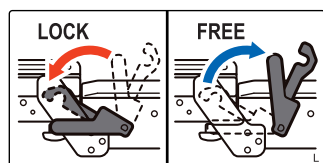
(5) C680030□



(6) C680035□



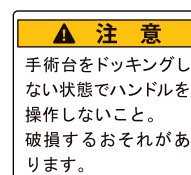
(7) C680012□



(8) C680013□



(9) C680033□



(10) C680032□



(11) C680031□



(12) C680018□



(13) C680011□



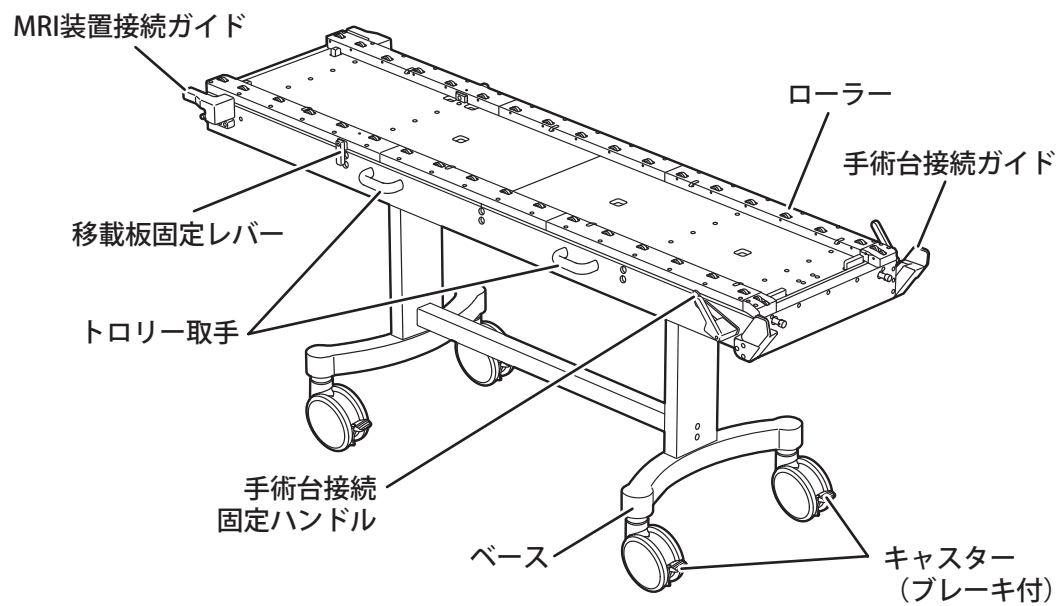
(14) C600500□



■ 安全記号一覧

記号	解説	ラベル No.
	一般的な危険標識（警告、注意）	(3) (6) (9) (12)

4 章 各部の名称



5 章 トロリーの設置

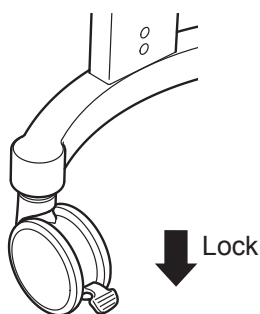
5.1 トロリーの固定と解除

■ トロリーを固定する

トロリーを手術台と連結するときには、ブレーキを作動させてトロリーを固定します。

1. すべてのキャスターについているブレーキを矢印の方向に操作します。

ブレーキが作動してトロリーが固定されます。



警告

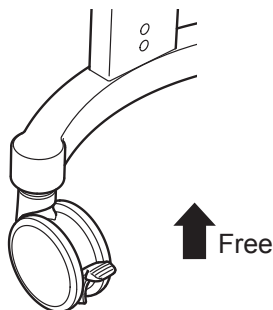
ブレーキ作動後、トロリーが確実に固定されていることを確認してください。

■ トロリーの固定を解除する

トロリーを移動するときは、手術台の固定を解除します。

1. すべてのキャスターについているブレーキを矢印の方向に操作します。

ブレーキが解除されてトロリーの固定が解除されます。



5.2 トロリーの移動



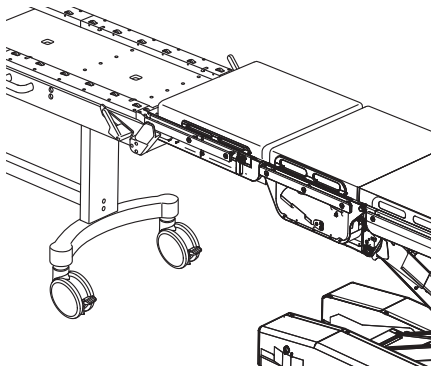
患者を載せた状態で本機を移動する場合は、移載板が確実に固定されていることを確認してください。
固定されていないと、患者が転落するおそれがあります。

1. 移載板が確実に固定されていることを確認します。
2. キャスターのブレーキを解除します。
3. トロリーを移動します。

5.3 手術台との連結と解除

■ 手術台と連結する

1. 本機を移動させ、手術台に接続します。

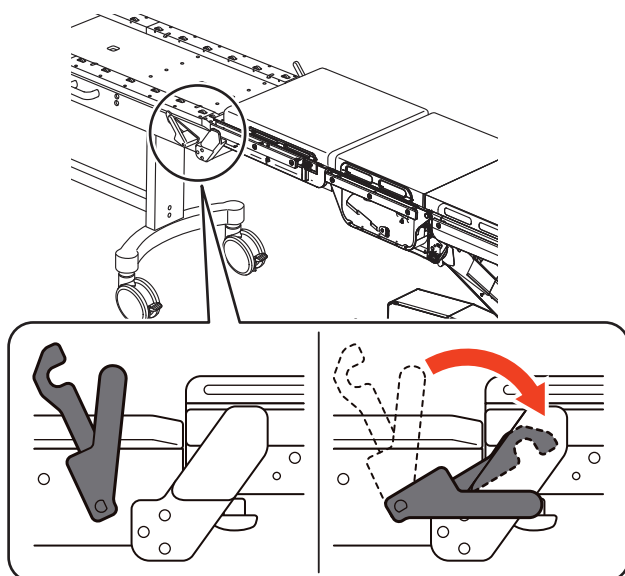


2. 手術台接続固定ハンドルを矢印の方向に回します。



注意

- 手術台接続固定ハンドルを操作する前に、手術台接続固定ハンドルがフリーの方向を向いていることを確認してください。
- 手術台接続固定ハンドルを操作するとき、指や布を挟まないように注意してください。



手術台接続固定ハンドルが固定され、本機と手術台が連結されます。



注意

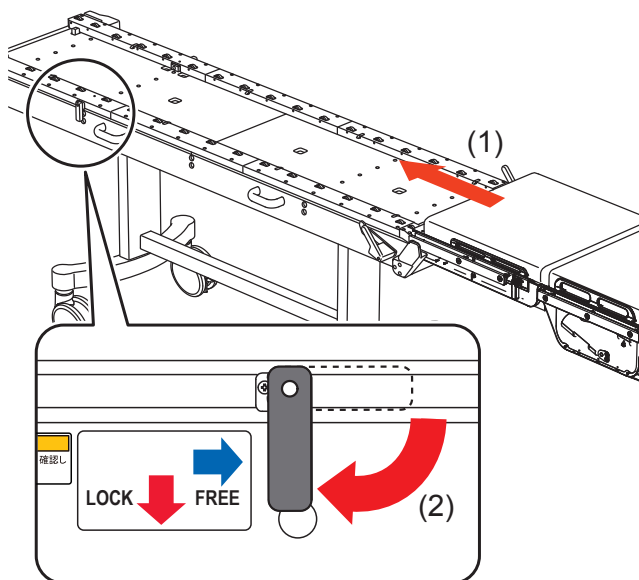
移載板の移動などの操作をする場合は、テーブルトップがロックされていることを確認してください。

3. 手術台の背板ロックおよび脚板ロックを解除します。

解除方法については「MST-7300BX-MRI・Mg-T 取扱説明書」を参照してください。

4. トロリーの移載板固定レバーが FREE の状態であることを確認して、移載板を手術台からトロリーにスライドします。

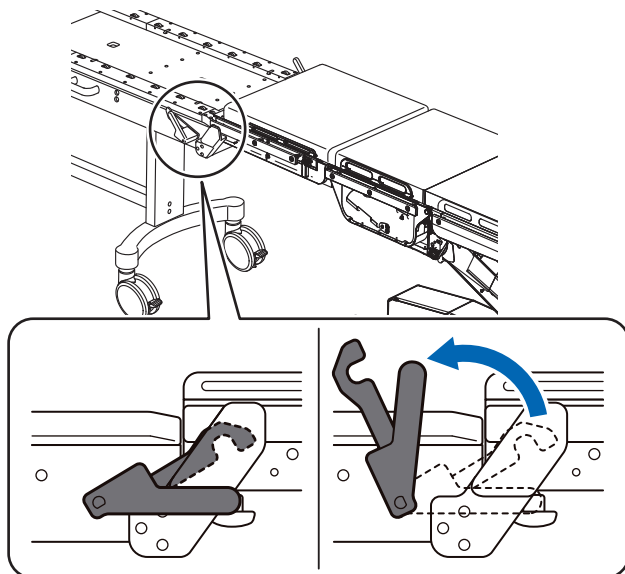
5. 手術台からトロリーに移載板が移動したことを確認して、移載板固定レバーを LOCK にします。



移載板が固定されます。

■ 手術台との連結を解除する

1. 手術台接続固定ハンドルを矢印の方向に回します。



本機と手術台の連結が解除されます。

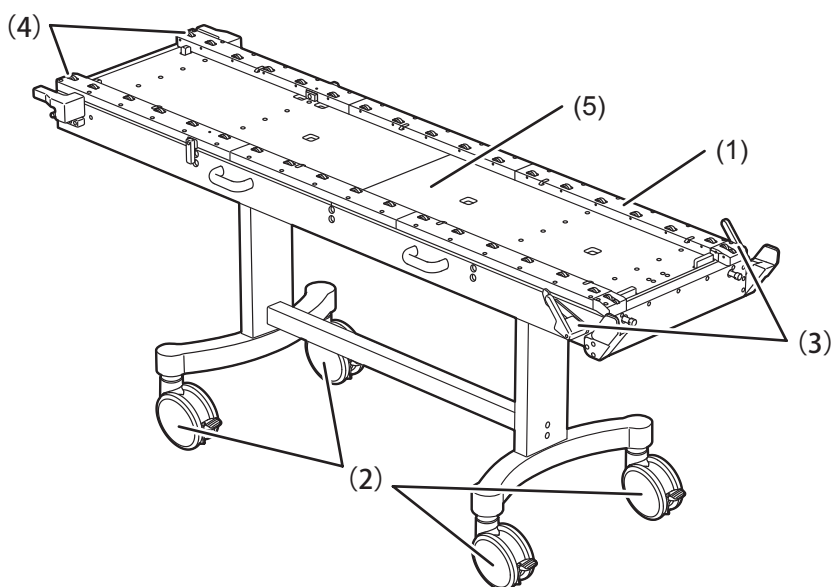
6 章 保守と点検

6.1 使用前・使用後の点検



- ・トロリーの使用前および使用後は必ず点検事項を確認し、異常がある場合はご購入店または弊社に修理を依頼してください。手術に支障が生じるおそれがあります。
- ・点検作業は MRI 室で行わないでください。MRI の磁気により作業者や機器に障害が生じるおそれがあります。

下記の事項を点検して、異常があればご購入店または弊社まで修理を依頼してください。



● 使用前

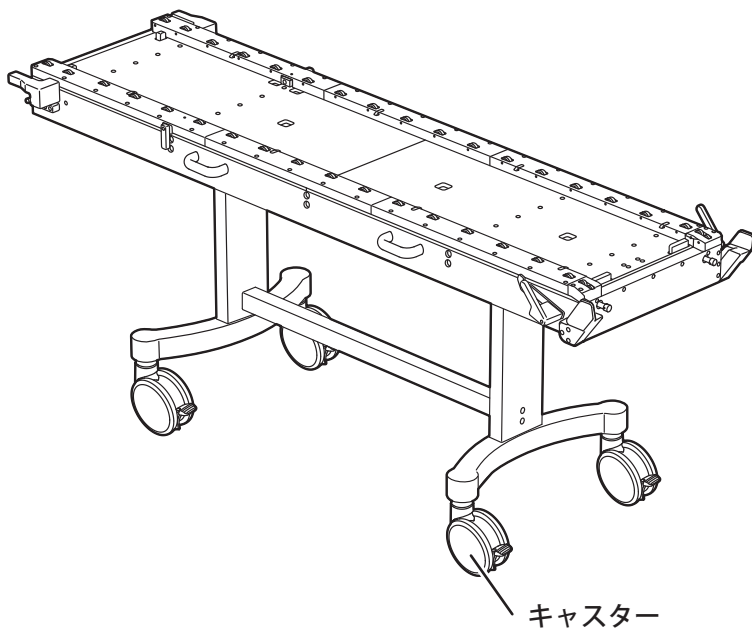
- (1) 本体に破損がないか。
- (2) 移動・固定が正常にできるか。
- (3) 手術台との接続が正常にできるか。
- (4) MRI 装置との接続が正常にできるか。
- (5) 移載板が手術台・トロリー・MRI 装置間を正常に移動できるか。

● 使用後

- (1) 本体に破損または汚れがないか。

6.2 定期交換部品

安全に使用していただくために、下記の部品を定期的に交換することを弊社で設定しております。交換時期は目安です。使用の状況または使用頻度によっては、早期に部品交換が必要となる場合があります。交換にあたっては、ご購入店または弊社に依頼してください。



部品名	交換時期
キャスター	5～7年

補足

左記は目安の期間です。使用条件により交換時期が異なる場合があります。

6.3 故障時

手術台が故障したときは、以下の処置をしてください。
トロリー本体に「故障」・「使用禁止」等の表示をします。



- 修理は弊社および弊社が認めた業者が行います。必ず購入店または弊社へ修理を依頼してください。
- 分解しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 感染防止のため、修理を依頼するときは必ずトロリーの清掃および消毒をしてください。
- 修理品は MRI 室に置かないでください。

■ 業者による保守点検事項

本装置を安全に使用するために、弊社および弊社が認めた業者による年 1 回の定期点検を実施してください。
それ以外の業者による保守・点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。
定期点検を希望される場合は、購入店または弊社へお問い合わせください。

7 章 仕様

7.1 仕様表

販売名		手術台 MST-7300BX-MR・T 術中診断手術台システム	
分類	製造販売届出番号	13B1X00306N10290	
	類別	機械器具 01 手術台及び治療台	
	一般的名称・JMDM コード	手術台システム 37325000	
	クラス分類	一般医療機器 特定保守管理医療機器	
商品名		術中 MRI 対応トロリー	
手動	ブレーキ	固定／解除：注 1	
	その他	移載板移動：注 2	
		手術台と接続・解除	
		MRI 装置と接続・解除：注 3	
寸法		2103 mm (L) × 650 mm (W) × 862.5 mm ～ 872.5 mm (H)：注 4	
質量		110 kg	
許容荷重		250 kgf	
使用環境	周囲温度範囲	10 ～ 40℃：注 5	
	相対湿度範囲	30 ～ 75%：注 5	
	気圧範囲	700 ～ 1060 hPa：注 5	
輸送および保管条件	周囲温度範囲	-10 ～ 50℃：注 5	
	相対湿度範囲	10%～ 85%（結露なし）：注 5	
	気圧範囲	700 ～ 1060 hPa：注 5	
耐用期間		指定した保守点検および適切な保管をした場合 10 年：注 6	

注 1：キャスターに取付

注 2：手術台と接続した状態で移動

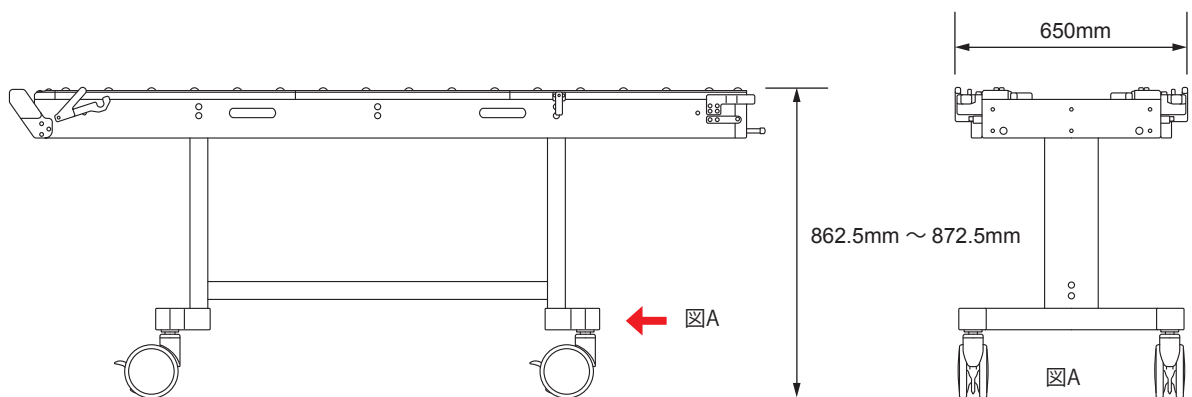
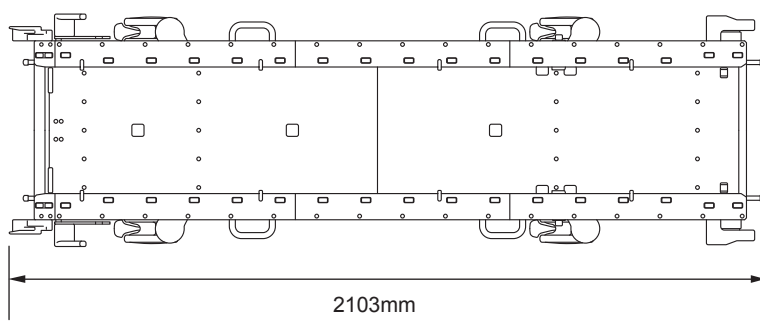
注 3：接続可能な MRI 装置には制限あり

注 4：10mm までキャスターとベースの間にシム（板状の部品）を挿入して調整

注 5：弊社基準

注 6：自己認証（弊社データ）による

7.2 外観図



改訂履歷

[illegible]

ミズホ株式会社

■本社

〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目30番地13号

URL : www.mizuho.co.jp

手術機器事業部

TEL 03-3815-3097 / FAX 03-3813-5068

整形・脳神経外科事業部

TEL 03-3815-3096 / FAX 03-3813-5068

特販事業部

TEL 03-4334-9111 / FAX 03-3815-3185

■各営業拠点

北海道センター

〒060-0807

札幌市北区北7条西2丁目6番地 37 山京ビル 2F

TEL 011-716-4731 / FAX 011-716-4803

東北センター

〒980-0014

仙台市青葉区本町1丁目11番2号 SK 仙台ビル 2F

TEL 022-227-1688 / FAX 022-227-1698

新潟センター

〒951-8062

新潟市中央区西堀前通1番町702番地 西堀1番町ビル 6F

TEL 025-229-5458 / FAX 025-222-4684

東海センター

〒464-0075

名古屋市千種区内山3丁目17番4号 スズシン第2ビル 3F

TEL 052-732-7130 / FAX 052-732-7131

関西センター

〒550-0004

大阪市西区靱本町1丁目10番24号 三共本町ビル 7F

TEL 06-6444-3840 / FAX 06-6444-3860

中国センター

〒730-0045

広島市中区鶴見町3番19号 板倉ビル 4F

TEL 082-241-8826 / FAX 082-241-8836

九州センター

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東3丁目1番1号 ノーリツビル福岡 5F

TEL 092-431-5022 / FAX 092-474-4483